

今すぐ解決したい! 残業を減らすコツ

設計ミス / 労働時間の削減、
生産性向上…
これらを解決するために
BIM 360 を活用しませんか。

BIM 360 を使うと…

- **テレワーク**が可能になり、移動のムダが省ける
- モデルの可視化で設計ミスが**半分**になり、プロジェクト完了時間も約**半分**に※1
- 関係者間のスムーズな連携で現場で発生する修正件数が **1/10** にまで減少※2

※1: <https://bim-design.com/catalog/uploads/polo-architects-customer-story-bim-360-design-ja.pdf>
 ※2: <https://bim-design.com/catalog/uploads/canam-buildingdesign-casestudy-usletter-approved-ja.pdf>

BIM 360 で残業が減るワケ

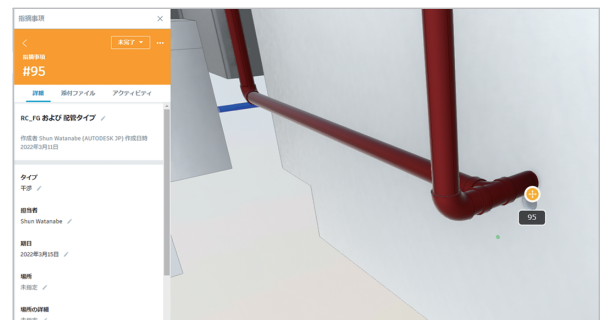
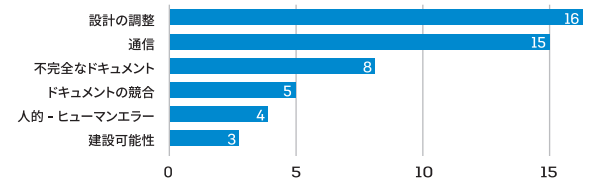
業務効率化のための分析が可能

設計ミスの種類や原因の集計、どのような作業に時間がかかっているのか、などボトルネックとなっている要因の特定ができるので、業務効率化に繋がるための対策をたてられます。自動干渉チェック、自動バージョン比較が行えるため、問題を早期に発見し素早く対処することが可能になります。

働き方改革の実践

どこからでも設計データを編集でき、連絡事項を簡単に共有できるため、外出先や自宅でもオフィスと同様の環境で仕事が行えます。また、設計者でも管理者でも案件の進捗状況を確認することができ、管理が容易になります。

指摘事項の根本原因



設計データの修正作業を大幅に効率化

図面を2回修正し、ソフトウェアを持っていない第三者に確認を行う場合

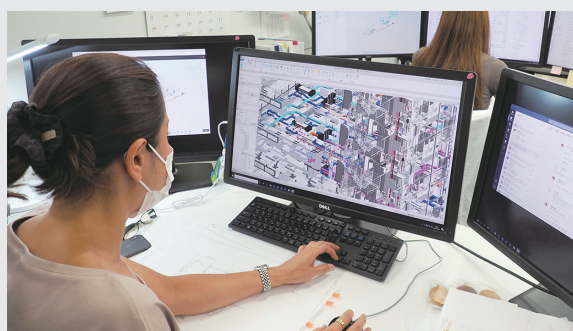
• CAD 製図の現状 505 分 (8 時間 25 分) 15 工程



• CAD x BIM 360 245 分 (4 時間 5 分) 9 工程



CAD 製図の現状と比較して
約 **50%** の時間を削減できます



クラウドでの BIM データ共有による生産性向上の事例 Revit と BIM 360 で生産性向上

さくらドラフトワークス 様

以前は業務のやり取りのために、1つのプロジェクトから複数の図面ファイルを管理して大変でした。しかし BIM 360 の活用により図面ファイルや作業指示の管理コストを少なくでき、作業効率が良くなりました。

<http://bim-design.com/catalog/pdf/SakuraDraftWorks-CaseStudy-ja.pdf>

業務効率化の鍵はRevit x BIM 360 !

各自が作成した BIM モデルを、マニュアルで統合していませんか？

BIM 360を活用すると、Revitワークシェアリングが可能になり、作業効率を大幅にあげることができます。

Revit と BIM 360 を使うと…

例えば
 BIM 施工図の **不整合減少率** **30%***
 施工図業務量の **工数削減** **30%***

* <https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/content/001400548.pdf>

Revit x BIM 360 を利用すると複数人でひとつの BIM モデルを同時編集できます！

作業者が別々に作成した BIM モデルをマニュアルで統合してませんか？これだと統合モデルの作成、チェックと言った手間が発生します。チェックの結果、修正が必要な場合は再度別々にモデルを修正しないといけません。

一方で、ひとつの BIM モデルを Revit で同時編集するとどうでしょうか。モデル作成段階からそれぞれの作業状況をリアルタイムに確認できるため、反映漏れや干渉などの問題を予防・早期対処できます。

作業効率アップのシミュレーション

• Revit と他社クラウドサービスを利用 580 分 (9 時間 40 分)



• Revit と BIM 360 を利用 380 分 (6 時間 20 分)



Revit と他社クラウドサービスを利用と比較して約**30%**の時間を削減できます



Revit ワークシェアリング活用事例

BIM 360 を活用した Revit ワークシェアリング

日本設計 様

「ICT を利用した設計業務の効率化に欠かせないのが、クラウドを活用したワークシェアリングの機能です」

設計を行う Autodesk Revit の“中央モデル”を複数のチームメンバーが共有して、同じプロジェクトモデルを使った設計作業が行われています。

<https://redshift.autodesk.co.jp/design-collaboration/>

BIM 360 の詳細は、担当営業またはオートデスク認定販売店までお問い合わせください。

Email : Japan.BIM360.Contact@autodesk.com

BIM 推進部署向け